

2018年3月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) キューバへの外国人渡航客100万人突破
- (2) 人民権力全国議会選挙の実施
- (3) 第5回共産党中央委員会総会の実施
- (4) 人民権力県議会の開催
- (5) キューバ中央銀行による通貨統合に係る発表

2 外交

- (1) 岡本外務大臣政務官来訪
- (2) JICAキューバ事務所開所記念式典の開催
- (3) ケニヤッタ・ケニア大統領来訪
- (4) 石黒大阪大学大学院教授によるハバナにおける講演の実施
- (5) チョン・ベトナム共産党書記長及びミン同国副首相兼外務大臣来訪

【本文】

1 内政

- (1) キューバへの外国人渡航客100万人突破

10日付当地紙グランマによれば、5日の週、本年のキューバへの外国人渡航客が100万人を突破した。昨年よりは4日遅い達成。同記事によれば、2017年は米国から62万人の観光客がキューバを訪問、また現在、世界の70の重要な都市から68社の航空便が就航している他、クルーズ船もハバナの他5カ所に就航している。

- (2) 人民権力全国議会選挙の実施

12日、国家選挙委員会は記者会見にて、11日に人民権力全国議会の605名の議員が選出されたと述べた。国家選挙委員会は、12日時点でのデータとして投票率を82.90%とした。(19日、85.65%に訂正された)。

- (3) 第5回共産党中央委員会総会の実施

ラウル・カストロ党第一書記が第5回共産党中央委員会総会を開催し、2日間に亘って、経済社会モデルの更新に係わる事項について議論した。ムリージョ「経済社会政策方針の実施及び発展のための常設委員会」委員長は、政策実施に関し、2011年から最初の3年間は速いリズムに特徴付けられたものの、後に手段の複雑性や計画化における誤りにより速度を落としたとし、好意的でない結果をもたらした理由として、リスクに関する限られた見通しや費用と効果に関する不完全な評価等を挙げた。また、同委員長は経済社会モデルの更新は非常に複雑なものであると

証明されたと評価した。

通貨の整備 (ordenamiento monetario) , 特に通貨・為替の統合に関する研究, 2030年までの国家経済社会開発計画の策定等が優先度が高いとされた。

総会は, 経済社会モデルの更新のプロセスを続けるための将来の行動と評価報告書を承認した。

ラウル・カストロ党第一書記は, 誤りや不十分である点が認識されたものの状況は数年前より良好である, 経済計画に向けてまだすべきことが沢山残っていると評した。また, 問題解決のために前進し, 果敢かつ聡明に戦い, 国の団結を保たなければならないと繰り返した。

また, 総会において, 住居に係わる政策草案についても詳細に分析された。

さらに, アコスタ国家評議会書記が, 中央委員会メンバーに対して, 政治局で承認された将来の憲法改正のための報告書を提出した。

(4) 人民権力県議会の開催

25日, 全国で人民権力県議会が開催され, 各県議会議長及び副議長が選出された。

(5) キューバ中央銀行による通貨統合に係る発表

30日, 当地紙グランマは概要以下のキューバ中央銀行による通貨統合に係る発表について報じた。

ア ここ数日, 銀行や両替所で兌換ペソ (CUC) を人民ペソ (CUP) に替える者が増えている。これは, 近日中にもCUCの流通が終わるとの誤った情報に基づくものである。

イ キューバ中央銀行が本紙 (グランマ) に送付したプレスリリースによれば, CUCは, 通貨統合プロセスの一環としてその廃止が決められ公式に発表される時まで流通を続ける。プロセス開始の日付は未定。

ウ 第7回共産党大会に提出された報告書では, 外貨, CUC, CUPで保有される銀行口座預金及び国民の保有する現金について保証するとの決定が改めて確認されている。

2 外交

(1) 岡本外務大臣政務官来訪

9日, 岡本外務大臣政務官は当地で開催されたJICAキューバ事務所開所記念式典に出席した他, カブリサス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣, ロドリゲス外務大臣, マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣と会談した。また, 日系人代表と移住120周年を迎えたキューバの日系社会の現状等について懇談し, ハバナ市内の日系人慰霊堂を参拝した他, キューバ進出日系企業関係者と懇談した。また, ハバナにあるウィフレド・ラム現代美術センターで開催された国際交流基金大型展示事業「近くへの遠回りー日本・キューバ現代美術展」オープニング式典に出席した。

(2) JICAキューバ事務所開所記念式典の開催

9日、ハバナにおいて同式典を開催。冒頭、岡本政務官が日本政府を代表して挨拶を行い、JICA事務所の開設を通じてキューバのニーズに応えた協力を展開していきたいと述べた。その後、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣がキューバ政府を代表して挨拶を行った。同式典には日系企業関係者、日系人代表、キューバ政府関係者、国際機関・援助機関関係者等が多数参加し、盛大に執り行われた。

(3) ケニヤッタ・ケニア大統領来訪

15日、ラウル・カストロ国家評議会議長はキューバ公式訪問中のケニヤッタ・ケニア大統領を迎えた。両者は二国間の友好関係、政治的結びつきや協力関係を促進させる意思を強調した。また、在キューバ・ケニア大使館の開設に相互に満足の意を示し、国際場裡の事案について意見交換した。ラウル・カストロ国家評議会議長はハリケーン・イルマによる被害からの復旧のためのケニア政府による支援に対し謝意を表明した。

(4) 石黒大阪大学大学院教授によるハバナにおける講演の実施

石黒浩大阪大学大学院教授は、19日、科学技術大学（CUJAE）において、また、20日、第17回ハバナ情報工学国際フェア・会議2018において、自身のアンドロイドを伴いキューバ人学生及び研究者等に対し講演を実施した。

(5) チョン・ベトナム共産党書記長及びミン同国副首相兼外務大臣来訪

29日、ラウル・カストロ国家評議会議長とチョン・ベトナム共産党書記長が会談した。両者は、二国間関係が素晴らしい状態である旨確認するとともに、ハイレベルによる対話の継続、様々な分野における包括的協力関係の促進及び両国共産党間の交流促進等についての意志を表明した。また、共通の関心を有する多国間及び地域に関するテーマについても議論した。会談後、ラウル議長に対し、ベトナムにおける最高等級である黄金星勲章（la Orden de la Estrella Dorada）が授与された。その後、政府間及び企業関連の合意文書への署名が行われた。

29日、ロドリゲス外務大臣とミン・ベトナム副首相兼外務大臣が会談した。両者は、二国間関係の素晴らしい状態を強調するとともに、政治、経済通商、協力関係についてレビューを行った。また、各国の現実に基づいた社会主義国家の建設について、引き続き情報共有する意向を表明した。さらに、外務省間の対話メカニズムの重要性について強調した。

3 要人往来

(1) 来訪

岡本外務大臣政務官

ケニアッタ・ケニア大統領

スコッティ・ナウル保健・医療サービス大臣
チョン・ベトナム共産党書記長及びミン同国副首相兼外務大臣

(2) 往訪

メディーナ外務第一次官のエジプト、シリア及びフランス訪問
ラウル・カストロ国家評議会議長のベネズエラ訪問
マルティネス・キューバ中央銀行総裁のコロンビア訪問
マレロ観光大臣の訪独
トウルヒージョ観光省第一次官のロシア訪問
シエラ外務次官及びヌニェス外国貿易・外国投資次官のベネズエラ訪問
カルデロン食糧産業次官の訪独